学校番号	319

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「精選古典Ｂ　改訂版」　（三省堂）						
副教材等	これでわかる　明快　古典文法（いいずな書店） 四訂版　力をつける古文　ステップ２（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・作品読解を通して当時の文化や生活を理解していくことを心がけましょう。
・古文の文法・単語能力、および漢文の知識を身に付けるためにしっかり予習復習をしてください。
・大学入試の際に対応できるよう、自分の力で読解できることを目指しましょう。
・予習では必ず教材の本文を写し、１回は本文を読んでおきましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は十分学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることができる。
・１年次の古文の基礎をもとに、中古文学を中心に作品の読解ができる。
・古文の世界を深く味わい日本文化を理解するとともに、大学入試に対応した学力をつける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古文漢文をとおしてそれぞれのきまりを理解し、品詞や句型、修辞法などの知識を身に付け、正しく読む能力を身につける。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検（ノート、ワークシート等）	・記述の確認（ノート、ワークシート等） ・定期考査 ・小テスト	・行動の観察 ・記述の点検（ノート、ワークシート等） ・定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	d	e		
1学期	1年の復習	教材: 説話『古今著聞集』 「大江山」	○	○	○	a:語句や表現に即して、説話の展開を読み取ろうとする。 d,e:和歌の修辞法について理解している。	行動の観察 記述の確認 ノート点検 小テスト 定期考査
	筆者の人生観に触れる	教材: 随筆『方丈記』 「ゆく川の流れ」 「養和の飢饉」	○	○		a:内容をふまえて筆者の考え方や当時の社会状況を理解しようとしている。 d:形の上で紛らわしい語を文法的に識別できている。	行動の観察 記述の確認 ノート点検 小テスト 定期考査
	古文の知識を深める	教材: 歌物語『大和物語』 「姨捨」 随筆『枕草子』 「春はあけぼの」 「中納言参り給ひて」 「雪のいと高う降りたるを」	○		○	a:内容を理解し、登場人物の心情や筆者の考え方を理解しようとする。 e:形の上で紛らわしい語を文法的に識別できている。歌物語の特徴を理解している。	行動の観察 記述の確認 ノート点検 小テスト 定期考査
2学期	漢文のおさらい	教材: 『世説新語』 「漱石沈流」	○	○		a:話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとしている。 d:基本的な句法・語法を理解している。	行動の観察 記述の確認 ノート点検 小テスト 定期考査
	漢詩に親しむ	教材: 唐詩　王維「鹿柴」 李白「春夜洛城聞笛」 杜甫「月夜」	○		○	a:漢詩に描かれた人物や情景・心情などを表現に即して味わおうとしている。 e:それぞれの漢詩が表現している内容や情感を理解している。	行動の観察 記述の確認 ノート点検 小テスト 定期考査

2学期（続き）	平安女流文学を学ぶ	教材: 『更級日記』	○	○	○	a:作者の生活や考え方を読み取るとともに、平安女流日記文学の特徴を理解しようとしている。 d、e：形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。	行動の観察 記述の確認 ノート点検 小テスト 定期考査
	古文の知識を深めるⅡ	教材: 物語『源氏物語』 「光源氏の誕生」 「北山の垣間見」	○	○	○	a、e：物語の内容を理解するとともに、『源氏物語』についてより深く知ろうとしている。 d:中古の文に親しむ。	行動の観察 記述の確認 ノート点検 小テスト 定期考査
3学期	敬語の学習	教材: 歴史物語『大鏡』 「弓争ひ」 「三舟の才」	○		○	a:登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとしている。 d:基本的な敬語について理解している。	行動の観察 記述の確認 ノート点検 小テスト 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。